

令和5年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」取組結果

都道府県名	岡山県	青少年行政主管課（室）名	子ども・福祉部子ども家庭課
最重点・重点課題	取組内容		備考
最重点課題 こどものインターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止	○広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ●ラジオ広報（県） 地方局において、フィルタリングやペアレンタルコントロールの必要性を放送 ●テレビ広報（県、県警察） 地元局において、フィルタリングやペアレンタルコントロールの必要性を放映 ●新聞の折込広告に啓発記事を掲載（県警察） ●地元紙にペアレンタルコントロールの重要性・青少年相談員制度について啓発記事を掲載（笠岡市、勝央町） ●プロ野球公式戦におけるアナウンス広報（県警察） ●県庁舎への懸垂幕の掲示（県） ●街頭啓発（県、各市町村、県教育庁、県警察） <ul style="list-style-type: none"> ・JR 岡山駅前において、フィルタリング利用促進チラシなど啓発グッズを配布（県、県教育庁、県警察） ・笠岡駅周辺において、ペアレンタルコントロールの重要性の啓発チラシを配布（笠岡市） ・JR 金光駅及び鴨方駅周辺において、SNS 利用の危険性に関するチラシ等を配布（浅口市） ・JR 里庄駅構内及び周辺で啓発グッズやチラシを配布（里庄町） ・商業施設等で街頭啓発（県警察） ○会議・研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ●青少年相談員研修会の実施（備前県民局） フィルタリングのチラシ配布、重要性の説明 ●岡山市青少年育成委員委嘱式及び研修会の実施（岡山市） 「補導活動から見える子どもたちの姿」と題した講演を受ける ●PTA 補導部会の実施（玉野市） 市内の少年非行の現状について警察と情報共有するとともに、「スマホ・メディアの利用」についてグループ協議 ●学校警察補導連絡会の実施（高梁市） SNS による被害の情報を共有し、県警察が主管する非行防止教室を積極的活用するよう連携 ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町） ●美咲町青少年育成活動連絡会の実施（美咲町） 町役場職員、青少年相談員に対するメディアリテラシーと題した講演 ●教育講演会の実施（矢掛町） 「ことばの力で絆づくり」と題した大学客員教授の講演会 ○保護者・青少年向けの防犯教室等 <ul style="list-style-type: none"> ●インターネットモラル教室の開催（各市町村） 警察と連携したインターネットモラル教室の開催 ●県下各学校における非行防止教室の開催（県警察） ○立入・実態調査（美作県民局） 携帯電話販売店への立入、保護者等に対するフィルタリングの説明状況等の調査		
重点課題1 有害環境への適切な対応	○広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ●「広報きびちゅうおうちょう」に社会を明るくする運動の標語「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のちから」を掲載（吉備中央町） ○立入・実態調査		

	<ul style="list-style-type: none"> ●巡回活動（各市町村） <ul style="list-style-type: none"> ・公園、ゲームセンター、書店の巡回（各市町村） ・未成年者喫煙防止活動として、たばこ販売店への立入、聞き取り調査（勝央町） ●青少年健全育成条例等に基づく立入（県、県警察） <ul style="list-style-type: none"> 書店、ビデオレンタル店、旅館・ホテル、コンビニエンスストアに立入、有害図書の販売状況等の調査 ●環境浄化活動（各市町村） <ul style="list-style-type: none"> 有害な雑誌、DVDの改修ボックス（白ポスト）を巡回し、回収 ○会議・研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町）【再掲】 	
<p>重点課題2 薬物乱用対策 の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ●パネル展（岡山市） <ul style="list-style-type: none"> 岡山市役所市民ホールにおいて、「岡山市・岡山市青少年育成協議会合同パネル展」を実施 ●各駅での街頭啓発活動（県警察） ●地元広報紙で啓発（笠岡市）【再掲】 ○会議・研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ●岡山県学校保健ブロック協議会の実施（県教育庁） <ul style="list-style-type: none"> 学校保健について薬物乱用防止教育を含めた指導連絡 ●岡山市青少年育成委員委嘱式及び研修会の実施（岡山市） <ul style="list-style-type: none"> 「補導活動から見えてくる子どもたちの姿」と題した講演【再掲】 ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町）【再掲】 ○保護者・青少年向けの防犯教室等 <ul style="list-style-type: none"> ●薬物乱用防止教室の実施（各県民局、各市町村、県警察） 	
<p>重点課題3 不良行為及び 初発型非行 （犯罪）等の 防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ●地元ラジオを介した広報（備前県民局） ●街頭啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・JR岡山駅前において、フィルタリング利用促進チラシなど啓発グッズを配布（県、県教育庁、県警察）【再掲】 ・街頭キャンペーンによる広報（新見市） ・社会を明るくする運動として、市内通学路におけるあいさつ運動、市内スーパー6箇所において啓発チラシ配布（赤磐市） ・登下校時間帯におけるあいさつ運動（備前市、真庭市） ●パネル展（岡山市） <ul style="list-style-type: none"> 岡山市役所市民ホールにおいて、「岡山市・岡山市青少年育成協議会合同パネル展」を実施【再掲】 ●テレビ放送（井原市、県警察） <ul style="list-style-type: none"> ・井原市緊急告知システム「お知らせくん」による呼びかけ放送（井原市） ・地元ケーブルテレビでの広報（県警察）【再掲】 ●広報誌掲載（鏡野町） ●市庁舎へ懸垂幕の掲示（笠岡市） ○会議・研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ●青少年相談員研修会の実施（備前県民局） <ul style="list-style-type: none"> フィルタリングのチラシ配布、重要性の説明【再掲】 ●岡山市青少年育成委員委嘱式及び研修会の実施（岡山市） <ul style="list-style-type: none"> 「補導活動から見えてくる子どもたちの姿」と題した講演を受けた【再掲】 ●令和5年度岡山県少年補導（育成）関係者研修会の実施（各市町村） ●補導研修会の実施（高梁市、井原市） 	

	<p>市内の少年非行状況について警察から説明を受け、補導員の質の向上を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町）【再掲】 ●美作警察署管内学校補導連絡協議会総会の実施（美作市） <p>○保護者・青少年向けの防犯教室等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校における非行防止教室の開催（美作市） ●県下学校における非行防止教室の開催（県警察）【再掲】 <p>○補導活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●街頭補導活動（各自治体、県警察） <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等と協働した街頭補導活動（県警察） ・地元夏祭りにおける補導活動（各市町村） ・青色防犯パトロールの実施（笠岡市） 	
<p>重点課題4 再非行(犯罪) の防止</p>	<p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元ラジオを介して「社会を明るくする運動」について広報（県） ●県立図書館において、「社会を明るくする運動」のパネル展（県） ●地元ラジオを介した広報（備前県民局）【再掲】 ●街頭啓発活動（総社市、県警察） ●広報誌掲載（鏡野町）【再掲】 <p>○会議・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第73回「社会を明るくする運動」大会への参加（各市町村） ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町）【再掲】 ●令和5年度岡山県少年補導（育成）関係者研修会（各市町村）【再掲】 	
<p>重点課題5 重大ないじめ・暴力 行為等の問題 行動への対応</p>	<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●久米南町青少年健全育成連絡協議会の実施（久米南町）【再掲】 ●町内小中学校の生徒指導担当者の連絡会を通じて、情報交換・有事の際における対応の徹底を実施（勝央町） <p>○その他（県教育庁、備前市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもほっとライン事例検討会（岡山市、実際の相談内容に基づき、対応の方針の検討及び確認を行い、相談員としての資質の向上を図った。）（県教育庁） ・学校訪問を通じて、児童生徒の生活状況など学校と情報共有を図った。（備前市） ・相談機関の周知（県教育庁） 「教育相談室」や「24時間子供 SOS ダイヤル」など相談窓口をチラシ配布により、学校、市町村教育委員会へ周知 	

※1 青少年センターの具体的な名称は、青少年センターのほか、少年補導センター、青少年育成センター、青少年指導センター、青少年補導センター、青少年相談センター、少年センターなど、地域の実情やしゅたつ活動内容に応じ様々。（こちらは項目に沿った記載をお願いします。）

※各区分に重複する取組内容については、【再掲】と標記

※特に、最重点課題については記載漏れがないように願います。

※各項目は必須ではありません。各自治体の実情に応じて推進した取組結果を記載してください。